

## 令和6年度 第4回 金指小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月14日（金）15時00分から16時40分まで
- 2 開催場所 金指小学校 さかみちホール
- 3 出席委員 山本 繁夫、高須 俊二、石原 彰浩、高木 克芳、内山 康子、  
巨島 信慶、山田 由紀
- 4 欠席委員 黒瀬 憲太郎、岩崎 美千代、長島 里枝
- 5 学 校 前田 一成（校長）、縣 倫子（教頭）、  
柳田 葉子（CS担当教員）、入手 佑香（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 入手佑香
- 8 議長の選出  
高須委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

### 9 協議事項

- (1) 令和6年度学校関係者評価について  
（「いじめ防止基本方針取組状況及び目標達成状況」含む）
- (2) 令和7年度学校運営の基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価について

### 10 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 令和6年度学校関係者評価

（「いじめ防止基本方針取組状況及び目標達成状況」含む）

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき、児童・保護者・教員の三者に実施した「学校評価アンケート」の結果と考察、改善方策についての説明があった。次に、教頭から「いじめ防止等のための基本方針」に基づく対応を行った結果と考察の説明があった。上記の説明を聞き、委員からは以下の発言があった。

- ・ 学校評価アンケートはいつ実施したのか。（高須委員）
- ・ 11月中旬に実施をした。（教務主任）
- ・ 1年間の学習の成果を披露していた1月の学習成果発表会後に学校評価アンケートを実施していた場合は評価結果が違っていたと思う。（石原委員）
- ・ 学校の周辺では元気に挨拶できるが、学校外など違う場所になると挨拶をしてくれない。自然に挨拶ができるようになってもらいたい。（石原委員）
- ・ 挨拶についての改善方策では、「大きな声で挨拶している子供の様子を動画で紹介」とあるが、挨拶は相手との会話・コミュニケーションのきっかけとなる。声の大きさよりもお互いに気持ちよく関わるのが重要ではないか。同じ地域に

住んでいる人や、同じ学校で生活している友達を大切にすゝる気持ちと自分がしてもらって嬉しかった気持ちのよい挨拶を表現することが、周りと気持ちよく過ごす第一歩として挨拶を捉えられたらよいのではないか。(内山委員)

- ・ 子供たちは「なぜ挨拶が大切なのか」を理解できているのか。返事や挨拶などを身につけるためには学校だけでなく、家庭内での習慣がとても大切だと思う。子供たちに「挨拶の大切さ」を伝えるようにしてはどうか。(高木委員)
- ・ 大きな声で挨拶するだけでは、心のこもった挨拶とは言えない。挨拶で最も重要なのは、気持ちの問題だと思う。(山本委員)
- ・ 子供たちが大きな声で挨拶している動画とはどのような動画なのか。  
(山田委員)
- ・ 今後、企画委員を中心に子供たちと一緒に考えていきたいと思っている。  
(教務主任)
- ・ 挨拶の改善方策として、子供たちが理解しやすい言葉に変換して、人に挨拶をする意味を伝えてはどうか。(山田委員)
- ・ 不審者情報等が配信されているので、不審者と誤解されたくないため、子供たちに声を掛けることに躊躇してしまう人が多いと思う。子供たちを見かけたときに、手を挙げると子供たちもそれに応えて手を挙げてくれるような気軽な挨拶がコミュニケーションをとりやすい。(巨島委員)
- ・ 挨拶の基本は家庭からだと思う。「家族内のあいさつ」について保護者に聞いてみてはどうか。(高須委員)

## (2) 令和7年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長より来年度の学校運営基本方針について説明があった。委員からは以下の発言があり、熟議の結果、基本方針は承認された。

- ・ 学校は「楽しいところ」であることを一番に望む。社会の縮図である学校であればこそ苦しいことも経験して乗り越える。「自己更新の営みを楽しいと感じられる学校」がとてもよいと思ったのでぜひ進めてもらいたい。(内山委員)
- ・ 自分のよさを知るためには、他者から認められないと自分のよさに気付くことは難しいと思う。周りが頑張っていることを認め、気付く目があり、辛いことや苦しいことがあってもお互い支え合うことを実感して楽しいと感じる場が学校であってほしい。(内山委員)

## (3) 学校運営協議会の自己評価

山本会長から、学校運営協議会自己評価表(評価項目1~4)について事前に各委員から提出していただいた意見を基に協議会の総意としてまとめていきたいと説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 学校からは「学校だより」などで情報発信ができていた。自分と関わりがある地域コミュニティ内へ情報共有をしていかなければならないと感じた。  
(山本委員)
- ・ 学校運営協議会委員の選出について、金指小卒業生(20代の若者)やソーシ

ャルワーカー・歴史などの分野に詳しい委員の配分ができるとうい。

(山本委員)

- ・ 委員候補者として、人材を集めることは大事になる。来年度は、地域の若い人材や地域で育った高校生など、若い世代に裾野を広げるための情報を繋いでいただきたい。資格を持った人をアドバイザーとして参加してもらうことも可能である。(教頭)
  - ・ 来年度は、教員や児童が学校運営協議会に参加する予定との説明があったが、地域住民が学校運営協議会に参加することは可能なのか。(高木委員)
  - ・ 会議は原則公開、傍聴可能になっている。(教頭)
  - ・ 学校運営協議会として、重点的な課題がある場合は、専門的な方がいるとういと思う。(高木委員)
- ・ その他報告事項等
- 司会から、令和7年度第1回学校運営協議会は、5月13日(火)午後2時からさかみちホールで開催する旨の報告があった。